

(学) 宮崎総合学院 宮崎ペットワールド専門学校
2023年度 授業シラバス

授業科目名	動物臨床看護学各論Ⅰ	科目コード	2301033		
開講クラス	動物看護師科	コース	動物看護師コース	学 年	2年
担当教員	玉田弘嘉（非常勤講師）				
	実務経験教員（ <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 ） 実務経験内容 獣医師免許 玉田動物病院院長 現場での症例を事例として授業に取り入れている				
開講時期	前期・後期・ <input checked="" type="checkbox"/> 通年 ・ 特別講義 ・ その他		授業コマ数	62 時間	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必須		単 位 数	2 単位	
使 用 テキスト 1	書 名	愛玩動物看護師の教科書 第5巻			
	著 者	編：緑書房編集部			
	出版社	株式会社緑書房			
使 用 テキスト 2	書 名				
	著 者				
	出版社				
参考図書					
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他（ ）				
<授業の目的・目標> 実際に動物病院でよく遭遇する犬と猫の病気について、原因、症状、診断、予防、治療について理解し、動物看護師として観察すべきポイントを学び、看護に活かすことを目標とする。					
<授業の概要・授業方針> 動物の疾病を器官別に学び、特有の検査や動物看護に必要な知識を習得する。疾患によっては好発種や好発年齢があるので、そのポイントを把握したうえで各症状を理解し、動物への看護法を身につける。					
<成績基準・評価基準> 前期と後期に優・良・可・不可の成績基準を設定する。評価の基準は筆記試験によるものとし、本科目の出席率が80%以上なければ本試験が受験できない。本試験における点数が80～100点を優、70～79点を良、60～69点を可とし、60点未満は追試とする。また、出席率が80%未満の場合も追試となり、追試においては60～100点を可とする。追試にて60点未満の場合は不可となる。 通年の評価は、前期と後期の本試験の点数の平均を算出し、その平均点が80～100点を優、70～79点を良、60～69点を可とする。					
<使用問題集・注意事項>					

<授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他>

動物病理学、動物臨床看護学各論Ⅱ

授業科目名		動物臨床看護学各論Ⅰ
2H /回	授 業 内 容	
1	科目概要、学習目標、概論	
2	口腔内疾患①（解剖と生理の復習、検査方法）	
3	口腔内疾患②（腫瘍、歯肉口内炎、口蓋裂）	
4	口腔内疾患③（歯の疾患）	
5	感覚器疾患①（耳の解剖と生理の復習、検査方法）	
6	感覚器疾患②（外耳炎、中耳炎、内耳炎、耳血腫）	
7	感覚器疾患③（眼の解剖と生理の復習、検査方法）	
8	感覚器疾患④（眼瞼、角膜の疾患）	
9	感覚器疾患⑤（強膜、結膜、瞬膜の疾患）	
10	感覚器疾患⑥（水晶体、網膜、涙腺の疾患）	
11	感覚器疾患⑦（眼球突出、緑内障）	
12	感覚器疾患⑧（皮膚の解剖と生理の復習、検査方法）	
13	感覚器疾患⑨（感染性皮膚疾患）	
14	感覚器疾患⑩（寄生虫性皮膚疾患）（その他の皮膚疾患）	
15	前期まとめ	
16	循環器疾患①（循環器系の復習、検査方法）	
17	循環器疾患②（弁膜症）（ショック）	
18	循環器疾患③（フィラリア症、心奇形）（心筋症）	
19	呼吸器系疾患①（呼吸器系の復習、検査方法）	
20	呼吸器系疾患②（鼻汁、くしゃみ、咳）	
21	呼吸器系疾患③（肺炎、膿胸、血胸）（その他の呼吸器系疾患）	
22	血液・造血器疾患（貧血）	
23	消化器系疾患①（消化器系の復習、検査方法）	
24	消化器系疾患②（嚥下困難、流涎、口臭、吐出、嘔吐、下痢、便秘）	
25	消化器系疾患③（食道、胃の疾患）（腸の疾患、消化管内寄生虫）	
26	肝胆道系・膵外分泌系疾患①（肝臓、胆嚢、膵臓の復習、黄疸）（肝性脳症、肝炎、肝リポドーシス）	
27	肝胆道系・膵外分泌系疾患②（膵炎、膵外分泌不全）	
		備 考

28	泌尿器系疾患①（泌尿器系の復習、検査方法）（腎不全、下部尿路疾患、尿石症）	
29	泌尿器系疾患②（ネフローゼ症候群、その他の泌尿器系疾患）	
30	内分泌系疾患（内分泌系の復習、検査方法）（甲状腺、副腎、膵臓の疾患）	
31	後期まとめ	